

2014年度ワークライフバランス（WLB）の取り組み

看護協会による調査

2014年6月 看護協会による個々の看護師へのアンケート調査が実施されました。

「経営・組織」、「上司」、「労働環境」、「病院の制度」に関する調査が実施され、当院職員の調査結果と、全国の看護師（65000名）の調査を対比する形で結果が出されました。

[アンケート結果はこちら](#)

2014年9月 「職員が大切にされている組織」という項目があり、私たちはこの項目で他の病院よりも良い評価を採りたいと考えました。そのため、具体的な改善策を見出すために病院独自のアンケートを実施し、働きやすさのアイデアを募集しました。

また、職場の責任者と職員のコミュニケーションをさらに良くするために、職場の責任者の自己評価を行い、自身の課題を抽出するとともに、コミュニケーションを円滑にするための「5ヶ条の取り組み」を12月にかけて実施しました。

※5ヶ条の取り組みとは、「あいさつ」「気づかい」「声掛け」「褒める」「感謝」の基本を徹底する活動です

2015年1月 以上の取り組みをより具体化するために、看護師懇談会を実施しました。

病院長・副院長・事務長・看護部長と看護職員の話し合いの機会を設定し、職員が日常業務の中での思いを率直に伝え、経営側がその思いを受け止める機会としました。

2015年4月 2014年度の取り組み総括として、業務改善会議を行いました。

それまでも月1回の部署責任者の会議を実施していましたが、より具体的な日常業務の改善を図るために、医局（常勤医全員）と看護単位責任者、その他の部署責任者が参加し、より安心・安全に、より円滑に業務が進められるよう、仕組みの見直しを行いました。

また、この会議は3ヵ月に1回程度、定期的開催することとなりました。

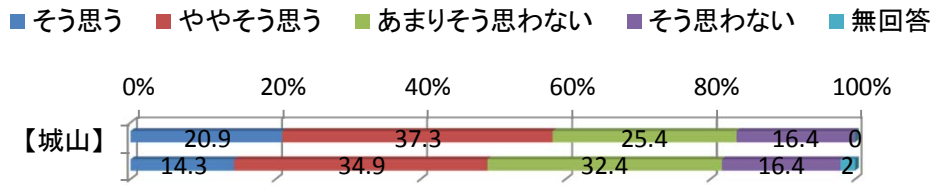
2015年度の取り組み予定

2015年6月 看護協会による個々の看護師へのアンケートが実施されます

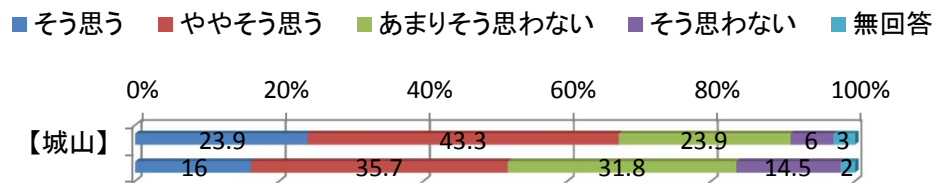
調査結果は9月頃となる予定ですので、その結果に基づいて新たな「働きやすい職場づくり」に取り組んでいきます。

ワークライフバランス(WLB)調査より抜粋

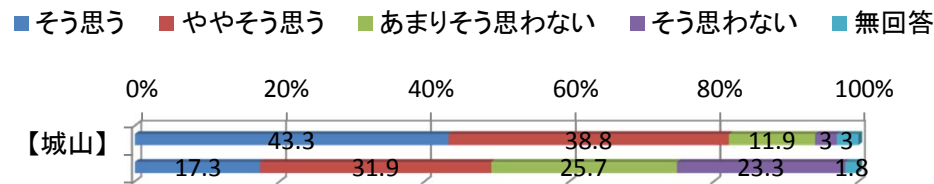
今の勤務先にできるだけ長く勤めたい



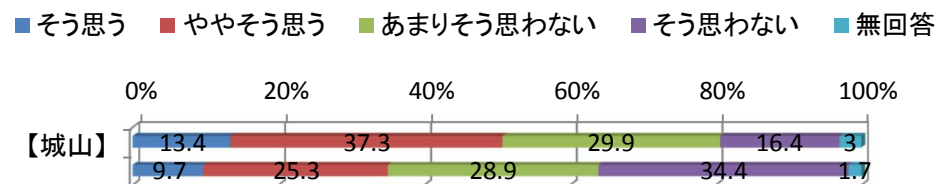
業務が終われば周囲に気兼ねなく帰ることができる



有給休暇は必要に応じて取得できる



定時に終わることができる業務である



勤務表作成時に個人の希望が通りやすい

